

| | | |
|----------------------------|---|--|
| 開講科目名 / Course | 初期体験実習 | |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2021年度 / Academic Year 前期 | |
| 開講区分 / semester offered | 前期 | |
| 単位数 / Credits | 1.0 | |
| 学年 / Year | 1 | |
| 主担当教員 / Main Instructor | 廣田 真里 | |
| 担当教員名 / Instructor | 秦 さと子、田中 佳子、廣田 真里 | |
| 必修・選択 / compulsory subject | 必修 | |
| 講義形態 / Class Type | 実習 | |
| 科目の目的と概要 | 1年次の早期に学外に出て、看護の現場を体験することで、看護職としての仲間入りを実感し、看護とは何かを考え、自ら看護の力を身につけようとする自立性を育むことを目的としている。1週間の実習で、臨床の看護師との同行実習や様々な場で働く看護職者の講話を受けて、キャリアパスを視野に入れた自分の将来像に多様性をもたせる。 | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 見学あるいは実施した看護実践を振り返ることができる。 2. 病気と向き合う対象者の思いを受け止めることができる。 3. 実感したことを述べることができる。 4. 社会から求められている看護の機能と看護の活動内容を述べるができる。 5. 達成すべき自己の課題や将来像について述べるができる。 | |
| DPとの対応 | 1.確かな看護の力・技術力、3.心豊かな人間性と倫理観、5.国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 | |
| 授業計画 | 実習期間：2021年7月5日（月）～7月9日（金） 実習施設：大分県立病院他、近隣の総合病院の12施設 実習方法：オリエンテーション（初期体験実習の目的、目標、実習展開、実習記録、評価等）施設実習；実習施設において1人または2人の学生が一人のナースに同行しながら実践活動を見学し、可能な範囲で看護師の指導・監督のもと看護援助を行う実習を展開する。 看護職者の講話・実習のまとめ | |
| その他の授業の工夫 | 目標を達成するための学習計画シートを作成し、実習終了時には「私は」どのような状態になっているか（望ましい姿）を実習前に記載する。実習前の看護学概論の時間に初期体験実習施設について調べ、レポートとしてまとめ、発表する。また実習に臨む姿勢についてのDVD等を視聴する。 | |
| 時間外学修 | 既習科目の生活援助技術について復習を行い、看護師との同行実習に備える。自己の体調管理が重要であることを認識し、実習開始となる日より10日程度前から体温測定や体調管理のための症状観察した内容を自己体調管理表に記載する。 | |
| 評価方法と評価割合 | 出欠席、実習内容、実習態度、提出物、個人面接等により総合的に評価する。出席日数は100%出席を原則とする。 | |
| テキスト | 特になし | |
| 参考書 | | |
| 履修する上で必要な要件 | | |
| その他 | | |
| 教員の実務経験 | 有・無 | 有 |
| | 内容 | 廣田真里：病院の看護師・看護部長 秦さと子：病院の看護師・副看護部長 田中佳子：病院の看護師 |
| 教員以外で指導に関わる者の実務経験 | 有・無 | 有 |
| | 内容 | 病院に勤務する看護師、県庁に勤務する保健師、開業助産師 |
| 実務経験をいかした教育内容 | 看護職としての経験があり臨地での同行実習を通じて、看護職としての仲間入りを実感させ、自立性を育む。将来像をイメージさせ、キャリアパスへの助言を与えることができる。 | |